

ふるさと、こ  
よもぎま  
「加茂の百年企業」  
その11



株式会社 堀内組  
社長 堀内 大祐

ふるさととともに

堀内組は、1850年創業、170年以上の歴史を誇る老舗建設会社です。加茂市と田上町を中心に「ふるさとを守る」ことを使命とし、地域の発展とともに歩んできました。

創業の原点

信濃川の水運業  
堀内組の歴史は、加茂新田で始まった信濃川の水運業に端を発します。創業当時、加茂の物資を新潟湊へと運び、地域の

物流と経済を支えてきました。この水運業の時代に培った信頼と地域とのつながりが、後の建設業への進出の礎となりました。

明治時代 請負業への挑戦

明治時代に入ると、当時の新潟県令や地域の旦那様の要望にこたえる形で請負業（現在の土木工事）に進出。当時、蒲原平野



は、信濃川をはじめ中小河川が多く、水害が頻繁に発生していました。「ふるさとから水害をなくしたい」という強い思いが、堀内組の事業展開を後押しし、地域の安心と安全を守る取り組みが始まりました。

戦争と復興

新たな時代への歩み

太平洋戦争時の企業合同や敗戦後の混乱を乗り越え、建築工事へと事業を拡大。中学校の工事では木材の仕入のため、夜行列車にゆられ現金を腹巻きに抱えて直接出雲まで買い付けに行ったことも。また、県道

新津三条線工事（現在の国道403号線）では、加茂市で初めてブルドーザーを導入し、当時の最先端技術を取り入れた施工を実現しました。この挑戦は、地域のインフラ整備と発展に大きく貢献し、堀内組の技術力と先見性を証明しました。

た。  
ふるさとを守り、  
笑顔を つくる

堀内組の理念は「ふるさとを守り人、笑顔つくり人」として、地域の発展に尽力することです。土木工事や建築工事はもちろん、地域イベントへの参加や子ども文庫への協賛活動など、地域に寄り添い続けています。170年を超える歴史の中で培った技術と信頼の胸に、これからも地域の未来を支え、ふるさとを守り続けます。

地域とともに未来へ

堀内組の歩みは、単なる企業の成長物語ではありません。地域の歴史とともに歩んできた、地域と共存共栄する物語です。創業以来の信念を受け継ぎながら、地域の笑顔をつくるため、未来に向けた新たな挑戦を続けます。

いいもののわ

市内事業所の個性豊かな社長さんや店長さんなどの意外な交友関係をご紹介します。いつかあなたにも繋がるかも？

いいともボタン：No.42 登場の安中恵美さん ➡ 佐藤梢さん



左/佐藤梢さん 右/阿部紗代子さん

いいとも No.43

「日本料理きふね」（穀町）佐藤梢さんの「とものわ」は「割烹阿部」（新町の阿部紗代子さん）。お二人は縁あって加茂の料亭に嫁ぎ、ご主人同士が友人という繋がりから仲良しに。京都生まれの阿部さんは、友達がなくて心細かった頃、佐藤さんの存在が本当に心強かったそうです。『料亭の若女将、市外出身、子どもの保育園が一緒、年齢もほぼ一緒！』と共通点が多く、悩みも共有できる特別な存在。いつも色々な話題で盛り上がるたびに「わかるう〜!!」と共感の嵐が起きるんだとか。仕事に子育てと忙しい毎日ですが、合間をぬって計画するランチ会や家飲み会でリフレッシュしているそうです。若女将としての細やかさ、華やかさの中にも強さを秘めた雪椿のようなお二人。これからも『食』を通じて小京都加茂を盛り上げていってください！